

# 第9期自治協議会

## 第2部会 活動の振り返り



## 第2部会

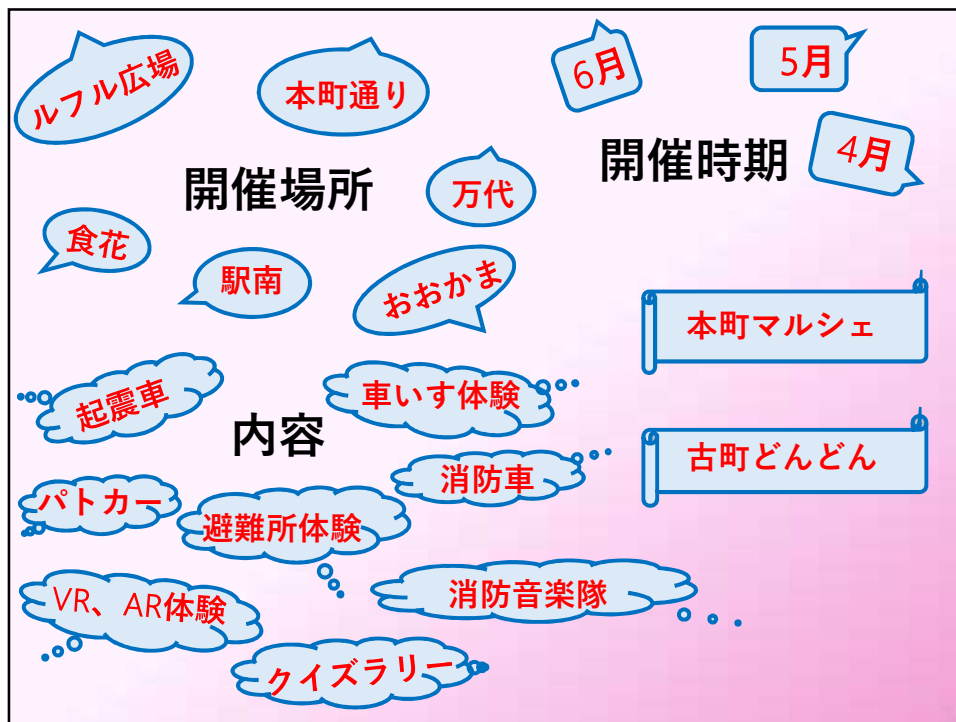
- \* 協働
- \* 子育て・教育
- \* 健康・福祉
- \* 防災・防犯
- \* 生活環境



防災意識のうすい人にむけて防災啓発のための

# 防災イベント

を開催する事に決定！



検討しましたが・・・

令和6年1月1日16時10分

令和6年能登半島地震

**新潟市でも  
海岸部や河川沿岸部に津波警報が発令**

**液状化による被害もかなり発生**



**自然と防災意識は高まった**

**路線変更をする事に**

**地震を経験して疑問や感じた事を  
アンケートで聞いてみよう**

**各コミ協にアンケートをお願いしました**  
(令和6年2月の自治協議会 全体会議において配布)

**皆さんご協力ありがとうございました**

アンケートにより、いろいろな課題が見えてきました  
避難行動や普段からの備え、そして避難所運営など

**防災講演会と防災ワークショップを開催**

11月15日、市民プラザで行われる  
中央区地域功労者表彰式にあわせて行う事にしました

令和6年11月15日

## \* 防災講演会

「地震発生初期からの避難所運営について」  
1月1日 西区で何がおきた！

講師 新潟市防災士の会 平井孝志会長

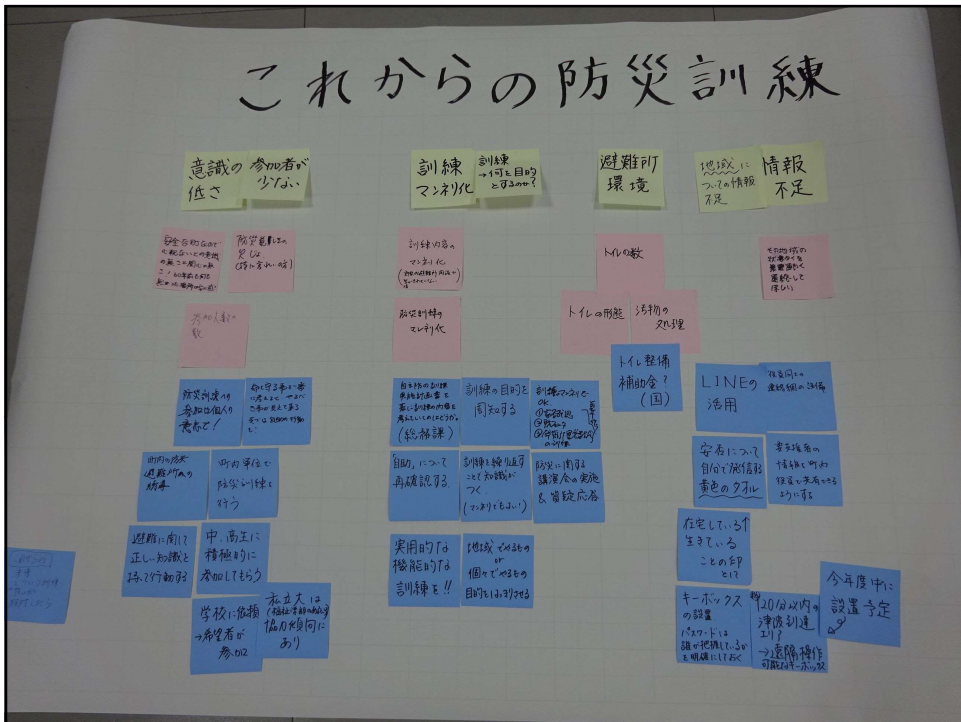
130名参加

## \* 防災ワークショップ

- ・避難所運営のあり方
- ・地域ごとの災害リスク
- ・これからの防災訓練

各コミ協から 27名参加





## ワークショップのまとめは各コミ協に配布しました

| テーマ             | これからの防災訓練   |   |                   |
|-----------------|---|---|-------------------|
| 防災実行            | 自治体職員   |   |                   |
| アドバイザー          | 役員(自治体職員)   |   |                   |
| アドバイザー          | 自治体職員   |   |                   |
| アドバイザー          | 自治体職員   |   |                   |
| アドバイザー          | 自治体職員   |   |                   |
| 項目              | 課題・問題点(ヒンク付)  | 解決策(実行策)  | 【参考】災害対応例・マニュアルなど |
| 協議の広さ・参加者の少なさ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>防災意識の高低(特に高齢の方)</li> <li>「安全な町」という思い込み。(60年前も何もなかった場所だから、という安心感)</li> <li>参加者人数が少ない</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練への参加は個人の意思で、参加を促すことを一番に考え、やらべまことが見えてくる。まずは、自助の行儀。</li> <li>町内会などで防災訓練を行う</li> <li>避難訓練してほしいねと持って行く(自分の場合は津波の危険性が高いのか？本当に避難する必要があるのか？など)</li> <li>町、自治体など個人に依頼してもらう。一歩先に依頼(大学については、福祉学部がある大学や、私立は協力傾向はあり?)</li> </ul>   |                   |
| 訓練のマンスリ化・目的が不明確 | <ul style="list-style-type: none"> <li>訓練内容のマンスリ化(実際の避難所開設の経験がない)</li> <li>かきまわらない</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>【中央広域訓練の留意】自主防の訓練実施計画書を基に訓練の内容を考えていくことが大切。</li> <li>訓練の目的を明らかにし、周知する。</li> <li>避難や中身の目的が、誰かやるものなのか、目的をはっきりさせる。</li> <li>「自治体」について再確認する。</li> <li>訓練も行うと「自治体」から(マンスリでも良い)。</li> <li>訓練はマンスリでも良い。内容として、①災害確認、②防災フェスタ、③避難所開設を目的とする等を実施する。</li> <li>防災に関する課長との連携を図る。</li> <li>民間、積極的な訓練とする。</li> </ul> |                   |
| 避難所環境           | <ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの数が少ない</li> <li>トイレの整備がすぐでない</li> <li>トイレの整備がすぐでない</li> <li>トイレの整備がすぐでない</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所の環境改善に向けて、国が自治体に対し、水洗式のトイレを備えた移動式のトイレなどの導入費用を補助する予定との情報あり。</li> </ul>   |                   |
| 情報不足            | <ul style="list-style-type: none"> <li>その地域の状況を早く把握してほしい</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「し」NPOの活用</li> <li>自治体の関係機関の活用</li> <li>災害について自ら発信する「黄色のタネ」(配布、おまていこと印として贈る)</li> <li>災害関係の情報を町内役員で共有する</li> <li>キーボックスの設置、防災マップが把握しているかを明確にしておく、一</li> <li>【中央広域訓練の留意】キーボックスは、今年度中に全ての避難所に設置予定。120戸以内の自治体には、避難所用可能なキーボックスを設置予定。</li> </ul>  |                   |

今期は令和6年能登半島地震が発生したこともあり結果的に防災を選んで正解でした。

最後に地震のアンケートのまとめを作成中です。3月の自治協議会全体会議にて配布予定です。



【自助】備え



**ご清聴ありがとうございました**

以上が第9期中央区自治協議会  
第2部会の活動報告になります。



新潟市防災マスコットキャラクター

キョージョ



ジージョ